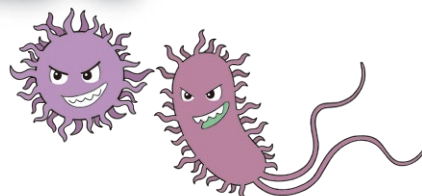


効かない薬が増えている!!



薬剤耐性を知っていますか?

AMR: Antimicrobial Resistance

「薬剤耐性」(AMR)とは、感染症の原因となる細菌に
抗菌薬(抗生物質)が効かなくなることです。

抗菌薬を正しく飲まないと、からだの中で耐性をもった病原菌が増えて
感染症の治療や手術の際に影響を及ぼすことがあります。

抗菌薬は正しく服用しましょう

かぜやインフルエンザに
抗菌薬は効きません



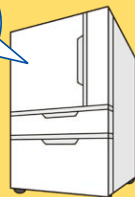
抗菌薬をもらうには
処方箋が必要です



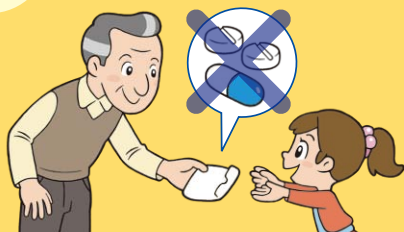
医師の指示通り
飲み切りましょう



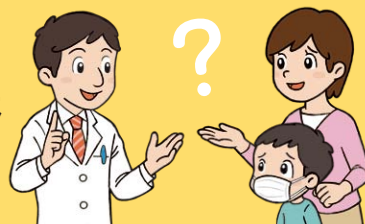
抗菌薬をあげたり、もらったり
してはいけません



抗菌薬をとっておいたり
別の機会に飲んではいけません



わからないことは
医師や薬剤師に
聞きましょう



AMR 臨床リファレンスセンター
Antimicrobial Resistance Clinical Reference Center
厚生労働省委託事業

かしくく治して、明日につなぐ
～抗菌薬を上手に使ってAMR対策～
<http://amr.ncgm.go.jp/>



薬剤耐性によって世界で年間 70 万人が死亡しています。 今、対策を講じないと 2050 年には 死亡者数が 1000 万人になると予想されています。

英国「抗菌薬耐性についての検証」委員会(2014年12月)

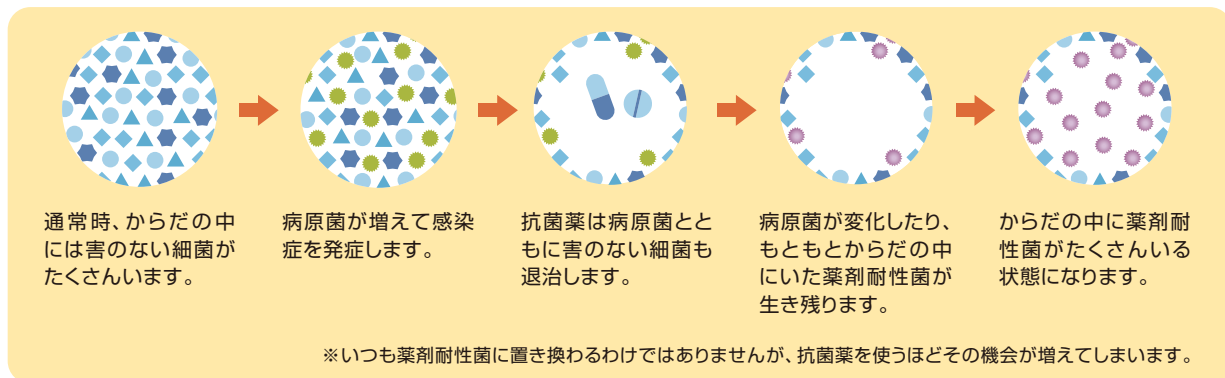
静かに進行する薬剤耐性の脅威

薬剤耐性を持った細菌がこのまま増加し続けると感染症の治療が難しくなるだけでなく、手術時の感染予防などさまざまな医療が困難になりかねません。薬剤耐性菌は病院の中だけでなく、病院の外でも人や環境に広がりつつあります。

薬剤耐性菌の増加を止めるためには、まず私たち自身が正しく理解することが大切です。

薬剤耐性菌とは

病原体である細菌が変化して、抗菌薬（抗生物質）が効かなくなる、もしくは効きにくくなることです。



薬剤耐性菌をふやさないために

●かぜに抗菌薬は効きません

抗菌薬は細菌と戦う薬です。かぜやインフルエンザの原因となるウイルスには効きません。

●処方された抗菌薬は 医師の指示通り服用しましょう

医師はあなたの状態に応じて抗菌薬を処方しています。処方された抗菌薬は最後まで飲み切りましょう。

他の人に処方された抗菌薬を飲んだり、とっておいてあとで飲んではいけません。

●わからないことは医師や薬剤師に 相談しましょう

●日頃からの予防が大切

手洗い



汚れが残しやすいところを意識して手洗いしましょう。

咳エチケット



ワクチン接種

